

BOOK NEWS

大洲高校図書館
No.7 2020年2月



最後のセンター試験が終わりました。今回の国語の平均点は119点（大学入試センター1月24日発表中間集計による）と、ほぼ昨年並みとなっています。出典はそれぞれ、第1問 評論：河野哲也『境界の現象学』 第2問 小説：原民喜「翳」 第3問 古文：『小夜衣』 第4問 漢文：『文選』謝靈運の詩 です。

河野哲也『境界の現象学』は、残念ながら図書館の蔵書にはありませんが、『レポート・論文の書き方入門』ならあります。哲学を用いて、環境・倫理・身体に関して思考を広げる研究に加え、大学導入教育や表現教育の研究も行っているそうですから、現2年生が受験することになる共通テストにも出題されそうな気配です。原民喜は、広島で被爆した体験を、詩「原爆小景」や小説「夏の花」（『灼 百年文庫86』（M908ヒ86））などの作品で著し、原爆文学として高く評価されています。『小夜衣』（さよごろも）は、山里の姫君の苦難と栄達の物語であり、院政期から鎌倉時代にかけて書かれた中世王朝物語の一つです。この時代の作品、『とりかへばや物語』なら思い当たる人も多いのではないのでしょうか。『文選』（もんぜん）は、中国南北朝時代の南朝梁の蕭統（昭明太子）によって編纂された詩文集です。謝靈運は、六朝文化の詩人の一人で、南朝の宋で活躍しました。彼は前王朝の東晋に対する忠義を忘れず、宋の文帝を篡奪者として非難したため、反逆者として捕らえられ広東で処刑されました。図書館蔵書の、『全訳漢文大系29 文選（詩騷編四）』（082ゼ29）P.384には田南樹園激流殖援一首 五言と題し、今回の第4問が載っています。何だか似たような話を聞いたことがあるような気もする詩です。

「読書は知識と心を豊かにしてくれるものです。『読書とは作者との対話である』であり、試験は『作成者と受験生との対話である』」というのは受験業界ではよく言われることです。日頃から、読書を通して対話する習慣を身につけることができれば、受験の時にも問題文自体にもっと興味が持てるのではないのでしょうか。3年生のこれからの健闘を祈っています。

～ 2月からの貸し出しについて、3年生へのお願い ～



- ・図書館の本は、これまで通り貸し出しできます。ただし、2週間の期限を守って返却して下さい。
- ・現在貸し出し中の本で、受験などで期限に間に合わない場合は、登校日に返却してください。
- ・小論文や、面接に役立つ本がありますから、有効に利用してください。

Librarians' Notes

（今月は1年生図書委員が担当します。）

『死にゆく者からの言葉』 鈴木 秀子 文春文庫

この本は、二階から落ちてしまった主人公が不思議な体験をし、それから死を目の前にした人たちの話を聞くというものです。死にゆく人たちは死が迫っていることを知っていて、自分の人生を振り返り、その意味を見つけようとします。彼ら愛する人たちの心の中で生き始める彼らの姿を通して、詩について考えさせられる作品です。筆者が実際に体験し、聞き取りを行った内容を一冊にまとめたものなので、読んでいて納得させられます。

『とっておきのおやつ。5つのおやつアンソロジー』

青木 祐子 阿部 暁子 久賀 理世 小湊 悠貴 榎野 道流 集英社オレンジ文庫

この本には、たい焼きやフレンチトースト、あんみつなどたくさんの甘いおやつが登場します。甘くて可愛いけど、どこかスパイスの効いた話が詰まっています。どの話も一話完結なので、読書が苦手な人も手に取りやすい本です。人気の若手作家5人が1冊にぎゅぎゅっと詰まっているのも魅力です。読みながら、食べたい一冊です。



その②：佐野徹夜さんの『この世界にiをこめて』や、青柳碧人さんの『浜村渚の計算ノート』など、クラスアンケートを元に入荷した本も多数あります。図書館右壁側本棚にありますので、是非手に取ってみてください。今後、引き続き話題になった本や、芥川賞・直木賞などの受賞作品も入荷する予定ですので、お楽しみに。

文責：図書委員長 山路